
プロフィール

透之 皓

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
プロフィール

【Nコード】
N9077N

【作者名】
透之 皓

【あらすじ】
軌夜>キリヤ<と憐>レン<と玲>レイ<
転校してきたその学校で

自己紹介

プロフィール

がやがやと皆が席を立ち

友達という名のクラスメイト達と話している昼休み。

僕らはいつもの同じ場所で集まっている。

ずっと

ずっと

まずは俺が自己紹介をしよう

名前：宮野 ミヤノ 斬夜 キリヤ

性別：男

特徴：カッコイイ系の顔立ち、たまにかける伊達眼鏡

性格：クールなリーダー系

一言：よろしく

んじゃ次は私

名前：啼崎 ナキザキ 憐 レン

性別：女

特徴：海のような長い髪の色、同じ色の瞳

性格：簡単に言えば副リーダー、剣術・武術は世界ランク

一言：よろしくね

はい！はい！次は僕

名前：リョウ之 玲レイ

性別：男

特徴：黒い帽子、背の低い童顔

性格：猫かぶり、ほんとは一人称、俺

一言：知っちゃったし、よろしく

そんな

奴らが仕組む事は何も無い

存在しない

ただの恋愛ストーリー

自己紹介（後書き）

自己紹介です。

これはね

自己紹介を「プロフィール」と呼んでいるわけではありません。

— 応関連性のあるものです

先生

「さあて、朝のホームルーム始めるぞ〜席つけ〜」

黒髪の白衣を着た顧問の男がいつものように言う

がたがたと席に戻る中教室を出ようとする者がいた

「おい、どこ行く気だ。今から始めるぞ。」

すかさず注意、ここは様になっている

気にせず生徒は教室を出た。

周りはあたり前のような顔

「はあ〜…ったく、しょうがねえな」

ほざきながらも先生は点呼を取りだした。

数分後生徒たちはざわめき始めた

理由は先生の言った一言だった。

「今日は転校生が来るぞ」

『転校生』

それに皆でざわめき始めたのだ

私たちはお構いなし

だって

私たちが転校生ですもの

紹介

「おい転校生入れっつてもう入ってるし」

「宮野ミヤノです」

「啼崎ナギサキレン憐レンです、よろしくお願いしまーすッ」

「僕、玲レイって言いますッ、よろしくね」

「じゃあこいつらが転校生」「軌夜やり直し」「憐、玲…お前ら…」

「チツめんどい…やだ」

…。

沈黙した。してしまった。

「オイ、さつさとやれよセンサー？」

「まあ、なんだかんだでこっちに来たそうだ。仲良くやれよ！以上」

先生の言葉が終わると何も言わず席を立つ生徒達。

決めておいた席に座ると軌夜には女子の群れが
玲にも女子の群れ、あたしは…いない

まあ…別に良い…気にしては居ない

むしろ女子の多さが可哀相だと考えるくらいだ。

まあ…

暇だし…コレ渡しに行こうかな…
来るのを待つか…

「あ、あの…転入生の啼崎さんだよね…？」

「あ、そうです。えっと…なにか？」

「よかつたらコレ…書いてくれないかな」

「あ、じゃあ私もお願いします！」

交換した一枚のカラフルな紙

それは

紹介（後書き）

それは

で終わらせてみたかっただけ。

はい、すみません。

第三話でした。

鍵

「可愛いね〜コレ良いねw、じゃあ」

「じゃあ、また」

ニコニコ笑いながら会話を終えると

青いペンを持って、さっき渡された紙を読み始めた。

最初に読むのは「好きなもの」の覧だ

食べ物・映画

埋めていく…

最後の項目の「色」は「青」

「あ…俺のも書いといてよ…」

「軌夜…ちゃんと書きなさい!」

「あ、俺も貰ってきたよ〜」

「渡したの〜?玲」

「渡さなかったら意味無いでしょw」

・・・何処と無く

「渡すの忘れたんだね…玲」

軌夜は隣で呆れ顔だ

「渡すときにやるよ」

逃げるように立ち去った…

「忙しくなりますかね〜？」

「男の子たちにも渡してこなきゃな…」

「手伝うか？」

「うん…多分大丈夫」

「これからの鍵は「プロフィール帳」

鍵（後書き）

4話では…あります。一応

「W」を使いました…使えると楽^^；

あせる時も「^^；」とか使えると良いんだけども…

流石にそれはな…

コメント…丁寧にしてくださいありがとうございますとございました><；

名前覚えやすい…自分の元名前だった…

名字は全然違うのですが…

またッ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9077n/>

プロフィール

2011年10月8日01時04分発行